

コミセン Comisen Music School ミュージックスクール2023

令和5年8月2日(水)、4日(金)「コミセンミュージックスクール」を開講しました。音楽に親しみ触れる機会を提供することにより市民の音楽文化活動を促進するとともに、そこに市民の交流が生まれコミュニティが育まれることを目的に実施し、コミセンでは毎年恒例の夏の人気事業となっています。今年も定員を満了する参加者があり、参加者全員で音楽を楽しみました。

初日の1時間目は様々な自治体主催の教室の講師や大学でも指導している松井直子先生の「みんなで楽しくリトミック」



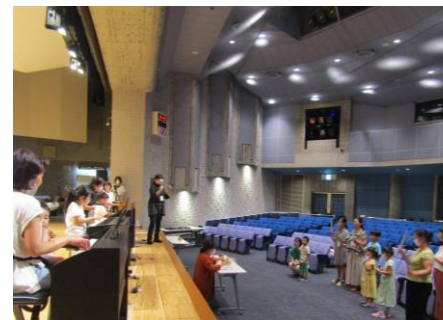
参加者みなさんが円になって、ボールをとなりの人に渡していきます。それを先生の指示する色んなリズムにあわせてやっていくうちに、参加者のみなさんのリズムに一体感が生まれていき、だんだんとリズムがあってきて、きれいなテンポを刻んでいました。

スカーフをつかったリズム遊びでは、両手の中にスカーフを入れリズムにあわせて手を開くと、中のスカーフがパッと開き、まるで花咲いたようになることから、リズムにあわせて参加者みんなで同時にたくさんの花を咲かせました。

ミュージックに大切なリズムをリトミックで体験し身につけました。

初日の2時間目はコンサートや講演活動、また地元の人材を生かした公演企画にも取り組んでいるピアニスト高梨智子先生による「ピアノで合奏」

ピアノを弾く前の準備運動から始まり、ピアノとトーンチャイムの2グループに分かれて、「ほたる」「きらきらぼし」の演奏を練習。ピアノが初めての人も積極的に取り組んで、初めてのトーンチャイムにもチャレンジし、曲がある程度弾けるようになった後は、参加者全員で、ピアノとトーンチャイムで合わせて演奏しました。みなさん初めての合奏なのに、とてもバランスよく音楽を奏でていました。みんなで演奏することの楽しさを学びました。



最後は、ピアノの先生方によるグランドピアノでの演奏。どこで聞いてもいいよということでしたが、本格的なピアニストの演奏を間近で聞いてみたい見てみたい人が多く、みんなピアノの周りに集まり、演奏に耳を傾けていました。

2日目となる3時間目は小学校の音楽の先生でもあり、上尾市内音楽専科で結成したグループで演奏活動も行っているトランペット奏者の大野裕美先生による「トランペットを吹いてみよう」



ほとんどがトランペット初体験というなか、楽器の持ち方、息の吹き方を指導してもらった、やはり最初はなかなか音が出ず。でもみなさんが、時間をかけて何度も何度もあきらめずにトライしていくうちに、だんだんと音を出すことができるようになっていき、講義の終盤にはさらに音階も吹けるようになっていきました。未就学のお子さんでも音階まで吹くことができたし、みなさん、楽器から音を出すということの苦労と音がでたときの喜びを味わっていました。

配られた運指表には、出すことができた音のシールをたくさん貼ってもらっていました。

最後は、全員で一斉にあわせて吹くととても大きな音が響きました。

2日目の4時間目は、大ヒットアニメ映画のレコーディングにも参加、パーカッショングループやDUOで演奏活動や作編曲も行っている打楽器奏者の永野雅晴先生の「打楽器をたたこう」

色々と取りそろえた打楽器を先生が説明。そして参加者のみなさんが、思い思いの楽器を選んで、手に取り、先生のスネアドラムのリズムにあわせて、打楽器を鳴らします。次は、トライアングル、タンバリン、ギロの3チームに分かれて、先生が出すお題にチャレンジ。どうすれば大きい音や長い音ができるか？変わった叩き方で変な音をだしてみようなどのお題をチームごとに調査。できたら各チームから発表。誰も思いつかないような叩き方で出る変な音にはみんなから関心と笑いも。最後は、先生の指揮のもと、3グループで合奏をしました。一つの打楽器でも叩き方によって、色々な音を作り出せることを知りました。



来場者アンケートによせられた声

- ・あまりできない経験ができてよかった。・いろいろな楽器に触れたり、リトミックを経験して新しい発見がたくさんありました。
- ・ピアノもトランペットも子どもには難しくて、途中でふてくされたりするかと思いましたが、投げ出さずにチャレンジできたので成長したと思いました。さらに音楽の楽しさを知ったのではないかと思います。ありがとうございました。
- ・様々な音楽歴の参加者に先生方が細やかに目配りして下さってありがたかったです。子どもはすべてと一つとも楽しかったと言っていました。
- ・いろいろな楽器が楽しかったです。・とても楽しいスクールでした。